



# 生物暦 Vol.11

～いきものこよみ～

国立環境研究所 生物季節観測研究チーム 2025年5月27日発行

## 1. ごあいさつ

調査員の皆様、いつも生物季節モニタリングにご協力いただきありがとうございます。5月も終わり、今年もまた暑くなりそうな夏の気配を感じます。春の生き物の観測もそろそろ終わりのようです。

今年は、市民調査員の登録およびデータ公開に関する利用規約を施行しました。また、これまで観測報告はメールでのみの受付でしたが、ウェブフォームからの報告も開始いたしました。皆様が楽しく観測が続けられるように、そして生物季節モニタリングのデータを多くの方に活用していただけるように準備を進めています。あらためて皆様のご協力に感謝申し上げます。

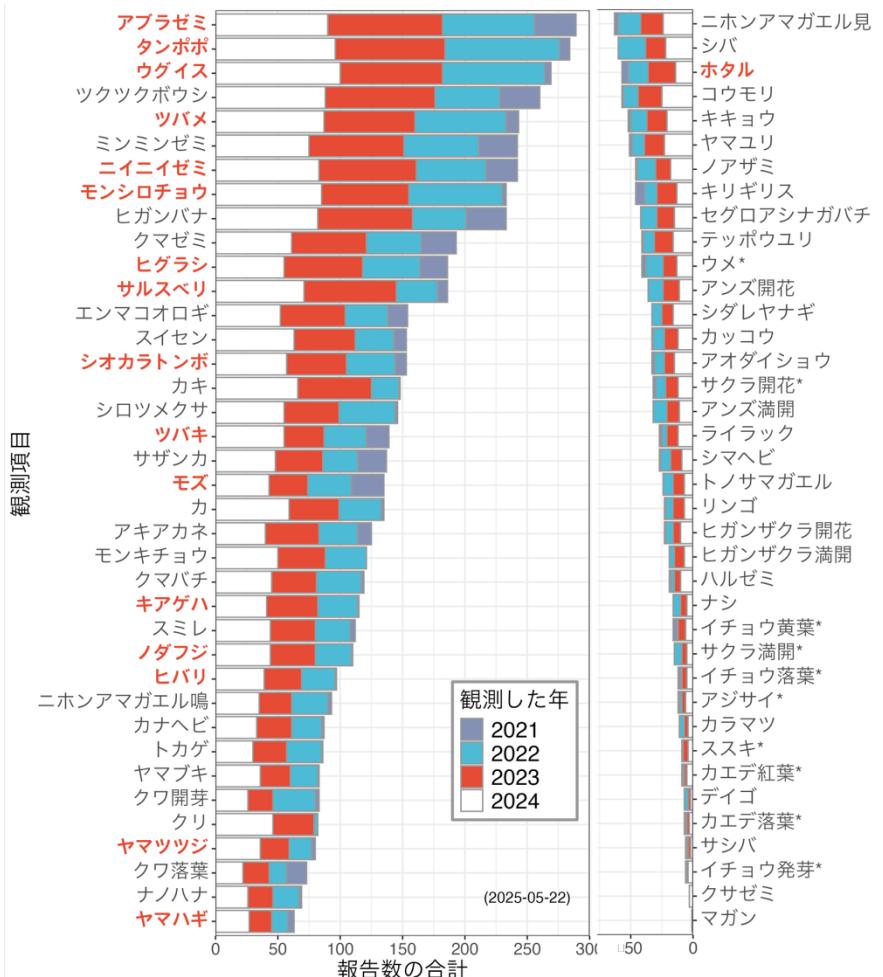
## 2.これまでご報告いただいた観測データの内訳

ついに観測報告数が7,000件を超きました。ありがとうございます！今回は2021年から2024年までの報告数をご紹介します。

グラフはモニタリング開始から今までの各観測項目の報告数を示したものです。赤い文字で記載した項目は重要種目、棒グラフの色は報告した年を示しています。また、\*印のついた種目は気象庁が継続して観測している項目です。

観測報告数の最多は「アブラゼミの初鳴日」、2位は「タンポポの開花日」、3位は「ウグイスの初鳴日」となりました。観測報告数の上位10種の中に、セミが5種（アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、クマゼミ）も入っています。動物の観測数が多く、10位以内にランクインした植物は「タンポポの開花日」と「ヒガンバナの開花日」の2つのみでした。

ちなみに、2024年の報告数第1位は「ウグイスの初鳴日」100件（2023年は4位82件）、2位「タンポポの開花日」96件（2023年は2位88件）、3位「アブラゼミの初鳴日」90件（2023年は1位92件）でした。



活動へのご意見・お問い合わせの窓口  
E-mail: ccca\_phenology@nies.go.jp  
Tel: 0298-50-2375 担当: 松島・西廣